



回復期病棟いも煮会

回復期リハビリテーション病棟では、10月29日にいも煮会を開催しました。入院患者様のリハビリの一環として、いも煮の材料は患者様と近くのスーパーへ歩いて買い出しに出掛けました。その後、患者様と職員と一緒に調理をし、午後から美味しくいも煮を頂きました。歌唱やレクリエーションなども行われ、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。特に買い物や調理の際は、皆さんの表情もいつも以上にいきいきとしておりました。入院生活を少しでも明るく健やかに過ごしていただくため、今後も様々な行事を企画してまいりたいと思います。



3階療養病棟敬老会

稲穂が眩しいくらいの秋晴れだった9月16日、3階療養病棟では「敬老を祝う会」を開催しました。会では、病棟の最高齢者である102歳の方と次いで100歳の患者様を紹介し、ボランティアによる舞踊とバンド演奏を披露しました。

患者様の中には、舞踊を見て昔を思い出したのか、うれし泣きする方や普段あまり会話をしない方が一緒に歌を唄う姿も見受けられ病棟全体が和やかな雰囲気にも包まれた会になりました。



居宅介護支援事業所ふかやのご紹介！！

今年4月、石巻ロイヤル病院内1階エントランス奥に

『医療法人 啓仁会 居宅介護支援事業所ふかや』がオープンいたしました。

居宅介護支援事業所では、何らかの病気や怪我などで介護が必要な状態になられた方の相談や生活環境の整備、必要に応じて介護サービスなどの手配、調整を行っております。また、事業所内には、医療や介護を必要とされる要介護者本人やご家族などからの相談に応じ、在宅・施設を問わず、適切な介護サービスなどを受けるための介護サービス計画（ケアプラン）を作成する介護支援専門員（ケアマネジャー）と呼ばれる専門職がおります。

病院の中に設立していることから、病院との連携もさることながら、各種専門職が多数在籍しておりますので、現在の在宅生活や退院後の生活に不安のある患者様の相談を地域医療連携室と共に立ち会うことができ、各種申請相談やセラピストによる、住宅改修案の提供、福祉用具利用方法の指導、糖尿病などを抱える患者様の栄養指導など、在宅復帰に関わる全ての心配を解決する方法を検討させていただきます。その他、レスパイト入院（介護疲れで悩んでいらっしゃるご家族にリフレッシュしていただくための入院）などについてもご相談を承ることができます。

私達は、本来の目的である在宅のケアマネジメントを確立すべく、情報収集の時間を数多く頂くことができる状況でございます。ケアマネジャーも病院の専門職の一員として、復興と地域医療の発展に力を注いで参りたいと考えております。

私達『居宅介護支援事業所ふかや』職員は、医療福祉とのつながり、お客様とのつながり、そして地域とのつながりを大切にすると共に、『住み慣れた地域であならしく生活するお手伝いをさせていただきます』をコンセプトとした、地域に根ざした医療・福祉・介護の提供の一翼を担う存在になれるよう職員一丸となって地域のために尽力して参りたいと思っております。

最後になりますが、お客様にご満足頂けるよう、お客様の声に耳を傾けて参ります。些細なことでもお気軽にご相談下さい。これからもどうぞよろしくお願い致します。

居宅介護支援事業所ふかや
管理者 杉元司郎



佐藤

菊地

杉元

地域医療連携室から

—介護保険制度の改正について—

介護保険制度は2000年（平成12年）4月から開始され、3年間を通じて介護保険料の財政の均衡を保つため3年に1度の改正を行っております。今年2015年はその改正される年で、どのような点が改正されたのか、複数回にわたって掲載します。

①介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）の入所基準が変わりました。

特別養護老人ホームは今まで介護度が要介護1以上であれば入所可能だったのですが、今年4月から原則要介護3以上に改正されました。特別養護老人ホームの入所を希望しているにもかかわらず、在宅生活を続ける重度の要介護状態の方が多数おり、優先的に特別養護老人ホームに入所することができるようにと厚生労働省が考えたためです。しかし事情によっては、要介護1～2でも入所可能な場合があるので、お問い合わせをしてみましょう。

※次回は、介護保険料の財源負担割合の変更について掲載しますので、お楽しみに！